



千代田区立お茶の水小学校



盲導犬利用者から話を聞く様子



住民ボランティアとの花植え

具体的な取組等(活動の詳細等)

- 毎月1回、児童と約80名の住民ボランティアが花植えや管理、地域清掃活動に参加
年間参加者数 960名(25年間の延べ参加者数 24,000名)
- 総合的な学習の時間において、車いす使用者、盲導犬利用者、視覚障がい者、高齢者等を学校に招き、児童が話を聞き、体験する取組を10年以上継続
- オリンピック・パラリンピック教育推進校、重点校として(平成27年度より2年間)、障がい者理解、ボランティアマインド、国際理解などを6年間の指導計画に位置付け、継続して指導

・【設立年】1993年

・【所在地】千代田区

・【活動年数】25年

取組の概要

- ▶ 地元町会等と連携し、様々な教育実践活動を実施
- ▶ 児童のハンディキャップを持った方への理解を育成

- 月1回の地域清掃、花苗の植付け等を25年にわたり地域住民ボランティアと児童が協力して実施
- 高齢者施設や障がい者団体と連携し、高齢者や障がい者と触れ合う中で、児童の共に生きる心と態度を育てる取組を実施

取組の効果

- 25年に渡って活動した結果、街の美化が進み、犯罪のないまちづくりに貢献している。
- 20年以上にわたる地道な地域でのボランティア活動を通じて育んだ思いやりや共に生きる心を基盤に、先進的なオリンピック・パラリンピック教育が行われている。
- 地域と一体になって定期的に活動することにより、地域住民と児童とのかかわりが深まり、登下校時の挨拶が多く交わされている。
- 日々の教育活動に地域住民が関心を寄せ、共に参加する機会が増えている。